

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和8年3月24日(火) 午前10時から11時15分まで	
開 催 場 所	川島町役場 2階 中会議室	
議 題	(1) 高校生を応援!電子マネー配布事業について (2) バス待ちスポットの登録について (3) 高校生公共交通プロモーション動画撮影について (4) かわみんタクシー制度について (5) 令和7年度、令和8年度の公共交通施策について (6) その他	
公開・非公開の別	公 開 (傍聴者1名) ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	瀬間委員、飯島委員、草野委員(代理:村上氏)、谷絶委員、藤田委員、高木委員、松本委員、鈴木委員、中島委員、久保田委員、谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 石川課長、松本主幹、木村主査、笛木主事
配 布 資 料	会議次第、資料1～8	
審議会等の内容・概要		
1 開 会 2 委嘱状の交付(該当者不在につき、実施なし) 3 自己紹介(該当者不在につき、実施なし) 4 会長あいさつ 5 議 事 (事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。) 会 長: 議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。谷絶委員、藤田委員に願います。		

(1) 高校生を応援！電子マネー配布事業について（事務局にて資料2、3を用いて説明。）

委員：アンケート結果より、公共交通の認知が低いことが見受けられる。そもそも知らないという層の属性分析は行っているか。

事務局：属性の分析までは実施できていないため、詳細な分析について検討する。

委員：Q11-1において、かわみんタクシーを利用したいが方法がわからないと回答した方が40%いるというのは衝撃的な数字である。どこがわからないのか等を分析し、利用を促進する施策の検討が必要ではないか。

事務局：令和7年度に作成した公共交通プロモーション動画を活用し、まずは中学生をターゲットに、認知向上を図りたいと考えている。また、本アンケートは令和8年度も継続して実施予定であるため、アンケート内にリンクを貼るなどし、高校生にもアプローチしてまいりたい。

委員：町内及び指定の町外病院のみ制度対象という、かわみんタクシーの制度を知らずに回答している層も多いのではないか。仕組みを周知することも重要ではないか。

会長：進学先の検討にあたり、交通手段が影響したと回答した割合が70%を超えているということは、町の将来に関わる大きな問題であると考えている。これまでも公共交通会議で議論してきたところであるが、令和8年度についても高校生の足の確保施策について、議論を進めていただきたい。

(2) バス待ちスポットの登録について（事務局にて資料4を用いて説明。）

委員：登録に向けてのスケジュールについて、バス会社との調整とは何を指すのか。

事務局：ステッカーの掲示等、バス停への掲示を伴うための手続きを想定している。

委員：大橋バス停付近に、駐輪場を有する新たな店舗がオープンした。調整してはどうか。

事務局：令和8年度に店舗と調整する。

(3) 高校生公共交通プロモーション動画撮影について（事務局にて資料5を用いて説明。）

委員：動画公開にあたり、字幕設定の追加をご検討いただきたい。また、今後の活用にあたり、1分以内のショート動画の編集についてもご検討いただきたい。

事務局：検討する。

(4) かわみんタクシー制度について（事務局にて資料6-1、6-2を用いて説明。）

会長：制度見直しに係る町民アンケートについては、ニーズをヒアリングする前に、運行コストや所要時間等について明らかにしたうえで、丁寧に議論及びシミュレーションを実施すべきである。

事務局：調査内容については、現在精査中である。

委員：駅乗り入れについて、かわみんタクシー制度内で実施する場合、需要の増加が見込まれるが、川島タクシーのタクシー台数で賄えるのか。

会長：このような議論をはじめに行ったらうで調査が必要であろう。

委員：公共交通会議における議論の軸として、バスとの共存は必須である。現状のバスサービスを補完するものに限るなど、シミュレーション内容も煮詰める必要がある。

委員：制度見直しと併せて、バスを利用しやすくする仕組みも検討すべきである。バスロケーションシステムの周知も実施すべき。

委員：町民アンケート内容については、公共交通会議でも議論すべきである。

事務局：公共交通会議での議論について検討する。

(5) 令和7年度、令和8年度の公共交通施策について(事務局にて資料7、8を用いて説明。)

会長：令和8年度の会議開催予定について、3回となっているが足りるか。

事務局：議論の状況を見て、回数が増加となる可能性がある。

委員：公共交通会議の開催数の増加も必要であるが、分科会における議論も必要でないか。

会長：分科会での議論のうへ、公共交通会議に諮る方法について、事務局で検討いただきたい。

事務局：検討する。

(6) その他

事務局：委員任期について、令和7年度末をもって満了となる。改めて就任依頼の通知を送付させていただくので、引き続きお願いしたい。

6 閉 会

署 名	谷 詔 亨
	藤 田 貢